

製品名: DUX4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10207**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	DUX4 DUX10
別名	
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q9UBX2
免疫原	ヒト DUX4 由来の合成ペプチド AA 範囲: 235-285

背景

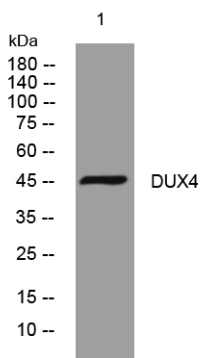
この遺伝子は、4 番染色体長腕部サブテロメア領域の D4Z4 リピート配列内に位置する。D4Z4 リピートは長さが多型性を示し、同様の D4Z4 リピート配列が 10 番染色体上に同定されている。各 D4Z4 リピート単位は、2つのホメオボックスをコードするオープン

リーディングフレーム (DUX4 と命名) を有する。リピート配列と ORF は他の哺乳類でも保存されている。コードされているタンパク質は、ベアド様ホメオドメイン転写因子 1 (PITX1; GeneID 5307) の転写活性化因子として機能することが報告されている。マクロサテライトリピートの収縮は、常染色体優性顔面肩甲上腕型筋ジストロフィー (FSHD) を引き起こす。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2015 年 4 月]

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、DUX4 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°で一晩